



JCAABEまちづくりコンクール+学生プロジェクトデザインコンペティション関連企画

オンライン講演会「参加の建築設計とまちづくり」 8月5日19:00~20:00

近年、公共建築において利用者参加の設計プロセスは必然となってきた。自らの街は、自らが作ると、住民参加のまちづくりが様々な地域で行われている。これは日本が成熟社会に向かってきているとも解釈できる。利用者参加のデザインとは？建築家のファシリテーションとは何なのか？を話します。

リリースしたJCAABE建築まちづくりコンクールについても説明します。

- 対象:建築・まちづくりに興味のある学生ならどなたでも参加可能
- 参加方法:登録不要、無料、下記Zoomリンクよりオンライン講演会に参加いただけます

Zoom招待URL

<https://us02web.zoom.us/j/81213718284?pwd=i7WYHUhX6ZwMcelKn4lBPacadZgAMR.1>

ミーティングID: 812 1371 8284

パスコード: 064313



講師:連健夫



建築家、JCAABE代表理事、港区まちづくりコンサルタント、1956年京都市生まれ、東京都立大学大学院修了、ゼネコン10年勤務の後1991年渡英、AAスクール大学院優等学位取得の後、同校助手、1996年帰国、連健夫建築研究室設立、設計活動とまちづくりにも関わる。

進行:山本想太郎



建築家、JCAABE設計コンペプロポーザル相談室長、HEAD研究会理事、TONKAN顧問、1966年東京生まれ、早稲田大学大学院修了、坂倉建築研究所を経て、山本想太郎設計アトリエ設立、設計活動の傍ら、東洋大学、工学院大学、芝浦工業大学等で教育にも関わっている。

「いま(日常)ともしも(非常時)を繋ぐデザイン2026」

<https://jcaabe.org/contest/contest2026/>



主催:JCAABE日本建築まちづくり適正支援機構、協力:キャリアナビゲーション、HEAD研究会
協賛:総合資格学院、イケガミ、ニチボウ、Centorオーストラリア、日本室内空気保健協会